

# 「レイ・ブライユ」

- なぜルイ・ブライユの本を選んだかと言うと、  
だからです。
- ルイ・ブライユは1809年に生まれました。今から200年ほど前に、目が見えない人が文字を読んだり、書いたりするための『点字』を作りました。私は点字を駅の中で / エレベーターで / 缶やペットボトルで見たことがあります。目の見えない人用に点字ブロックなどがあることは知っています。私は  
と思いました / 感じました。
- ルイや目が見えなくても、勉強がてき、音楽の才能がある子供でした。ルイは家族と離れて、遠いパリの盲学校に入って勉強することになります。もし私がルイのように目が見えず、家族と離れてくらすと思うと、  
なのではないかと思いました / 考えました。
- ルイはヴァランタン・アユイが作った『浮き出し文字』で勉強をし、元軍人であるシャルル・バルビエが考案した12点からなる点字『ソノグラフィー』をもとに、6点の点字を発明しました。
- 目が見えないルイだからこそ考えられる、読みやすく、書きやすい文字としての点字です。
- 私は、どのように点字が生まれたかを知って、  
と思いました / 感じました。
- 私は【よりよくしようと努力 / 改善した体験 / 「もっとこうすればいいのに」と思った出来事】  
①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /  
どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか  
ということがありました。
- そのこと / 経験から、(もっとよくしようと思うことは / あたりまえのことに対する疑問を持つということは / 少しでもいいものを作りたいと思うことは / 不便や不快をそのままにしておくということは)  
だと思いました / という気持ちがわかります。
- ルイ / 点字のことを詳しく知って、一番感度した / 記憶に残った / みんなに教えたいことは、  
です。
- なぜなら、  
だからです。
- ルイ・ブライユは、ヘレンケラーや多くの目の見えない人に強い影響 / 学ぶチャンスを与え続けています。  
もしルイが使いやすい点字を発明しなかったら、  
なのではないかと思いました / 考えました。
- 私は、ルイは / 点字は / 目の見えない人が学ぶということは  
と思いました / 感じました。

半日で読書感想文！ <https://handoku.com/>